

2019年1月30日

各 位

会社名 サイオス株式会社
 代表者名 代表取締役社長 喜多 伸夫
 (コード番号3744 東証第二部)
 問合せ先 常務執行役員 小林 徳太郎
 電 話 03-6401-5111

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、最近の業績動向を踏まえ、2018年10月31日に公表した2018年12月期連結業績予想を下記のとおり修正しましたので、お知らせいたします。

記

1. 2018年12月期連結業績予想の修正（2018年1月1日～2018年12月31日）

(1) 業績予想の修正

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 12,400	百万円 70	百万円 80	百万円 0	円 銭 0.00
今回修正予想 (B)	12,799	290	310	225	26.15
増減額 (B-A)	399	220	230	225	26.15
増減率 (%)	3.2%	314.3%	287.5%	—	—
(ご参考) 前年同期実績 (2017年12月期)	12,470	320	326	△587	△68.11

(2) 修正の理由

オープンシステム基盤事業においては、主力製品「LifeKeeper」の売上が第4四半期に国内・海外の両市場において見込を上回ったことに加え、商品販売売上也見込を上回りました。

アプリケーション事業においては、金融機関向け経営支援システム販売において期中の成約を見込んでいなかった案件の受注があったこと、上半期に落ち込んでいたMFP向けソフトウェア製品の販売が、販売パートナーとの更なる連携を強化したこと等により第4四半期に回復し、売上が見込を上回りました。

これらの影響により通期連結業績予想の売上高を12,799百万円（前回発表予想比3.2%増）へ修正いたします。

利益面では、利益率が高い自社製品売上の回復による売上総利益の増加に加え、費用の効率的な運用を推進し、販売費及び一般管理費を見込より削減できたことから営業利益は290百万円（同314.3%増）、経常利益は310百万円（同287.5%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は225百万円（同225百万円増）へ前回発表予想をそれぞれ修正します。

(*)MFP 向けソフトウェア

プリンタ、スキャナー、コピー、FAX 等複数の機能を搭載した機器を MFP (Multifunction Peripheral の略) という。MFP 上で利用できる文書管理ソフトウェア。

(注) 本業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づくものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。また、上記金額は百万円未満切捨て表記しており、増減率は円単位で計算した後に小数点以下第2位四捨五入で表記しています。

以上